

平成 25 年 6 月 3 日（月）野田校区懇談会

Q：子の親は実感がわく。ここにいる人は孫を持つ人。総代を通じて意見を吸い上げようと思うが、どのようなことまで意見を吸い上げてもらえるか？

A：まずは大方針を決めていただく。次に細かいことを決めていく。

Q：どこかの学校へ統合なのか、新設なのか？

A：市としては統合。野田中は田原中、あるいは赤羽根中への統合ということで考えていただきたい。

Q：彦田と仁崎では、状況がまったく違う。スクールバスの停留所はどこになるのか？

A：まだ決まっていない。文科省の基準は 6 km 以上の場合に支援する。路線バスの補助やスクールバスなどで支援したい。

Q：路線バスを使う場合には、自転車も使うことになる。

A：芦や仁崎からでは国道に出るまでに時間がかかる。例えば、仁崎はぐるりんバスを延長、芦村は国道沿いに自転車置き場を造るなど色々な考えがある。

Q：2、3 年生の子が田原中に入る場合、心のバランスが心配。

A：1 年間は適応の期間が必要。部活動を一緒に練習したり、一緒にチームを組んで 2 チームで出場したり、希望を持って生活できるようにしたい。そういった期間が必要。

Q：赤中との統合では、人数が少なくなるか？

A：赤中と野中が統合した場合、1 学年 70～80 人。クラス編成もでき、120 人以上の規模になる。しばらくの間は同程度で推移する。

Q：辛うじて 120 人以上の規模。

A：泉中也小規模化している。泉校区にもこの議論に入ってもらいたいと思っている。野中が田原中と統合することになれば泉中は別の選択肢となる。

Q：平成 27 年に統合する場合、大方針はいつまでに決めなければならないのか？

A：今年中には決めてもらいたい。そうすれば平成 27 年には間に合う。教員も本年中に方針が決まれば良い。平成 27 年の統合案は、3 月の学校を考える会で「子供たちのために早く対応することが望ましい。」という意見が多くあった。その時の話しでは「来年からでもお願いしたい。」という意見もあったが、子供たちのことを考えて 1 年間は必要。最速で平成 27 年。

Q：昔の西部中の話しがあって「土下座しないと入れてやらない。」と言う人もいる。子供がいじめられないか心配。統合先の学校にも配慮してほしい。

A：部活動、行事の合同実施などを考えている。準備期間が 2 年間必要ということであればそうする。

Q：どういった問題が想定されるか分からない。市から細かい提案があった方が良い。

A：中学校の現状は生徒数が年々減少している。部活動も維持できない。教育の平等性からも問題があると考えている。とても良い子だが、高校に行って人間関係を築けないことがあると親から聞く。子供たちにとって大事な時期。活躍したり、活動したりできる環境を整えてあげることが大切。

Q：部活動が終わってからのスクールバスの対応や路線バスの経費について教えてほしい。

A：路線バスを増便してもらう要望はできる。定期・回数券に対する補助など、具体的には決まっていないが支援はしていきたい。

Q：地域の理解を得てということは反対と言えば進まないということか？

A：総意で決めていただく。強引なことはしない。

Q：色々な意見がある。纏めるのは大変。母の意見だけを取り纏めろと言われてもとてもできない。

A：最後は校区会長であれば纏めてもらえると思っている。PTAとも話しをする予定。要望書を出していただき、最終判断は市がする。

Q：平成27年の統合を目指す場合の目処は？

A：今年度中に大方針が決まれば間に合う。

Q：平成25年度末に纏まらない場合はどうなるのか？

A：決定がずれ込めば次年度。平成17年から引き伸ばしになっているので、粘り強く対応していく。

○：役員が1年交代で変わる。学校の適正規模は、前向きに考えていかなければならない。PTAには、保護者に議論が煮詰まった段階でアンケートをとってもらい、あらゆるところから情報をもらって判断していく。

Q：野中を統合する話しばかり。野中、泉中、赤中を統合し、市内4中学校という考えはないのか？

A：市内4中学校という考えもある。平成19年に赤中を改築した。まずは赤中に統合が順当。3校区で新設校建設の要望が出れば考えなければならないが、少子化なので将来的には、3中学校と考えるのが順当。

Q：好きな部活に入れないという話しを聞くと統合はしょうがないと思う。児童生徒数はこの先どうなると考えているのか？

A：今のような状況で少しずつ減少していく。転入もあまり見込めない。

Q：統合年度だけ、そのまま1クラス（野田クラス）増やすということはできないか？

A：統合する利点には、色々な生徒とかかわることができるということがある。

Q：3年生は統合、すぐに受験となる。

A：1、2年生の時から統合校とかかわっていく。落ち着きを保つための手立ては必要。受験というハードルはあるが、子供は独りだけで転校しても適応していく力を持っている。

Q：決まったように話している。たたき台であるにしても素直なとり方はできない。報道が先行すると意見が出なくなる。最近の統合事例や田原での問題などの情報を示し、説明してもらえれば対応できる。

A：新聞も、最後まで読めばたたき台と書いてある。そういった情報も提供していく。

Q：赤中と田原中の海拔は？

A：赤中は20m、田原中は11m。いずれの学校も津波の影響はない。

Q：田原中は浦、大久保の住宅開発で子供の数が増えていく。学校の容量は大丈夫か？赤中はどうか？

A：田原中は1学年7クラスの学校であった。赤中は1学年120人までは十分受け入れ可

能。いずれも容量は十分ある。

平成25年6月10日（月）和地小学校保護者懇談会

Q：確認したいことがあります。中学校が近隣の中学校と一緒にあって、クラブ化が可能であるということを聞いたことがあります。

A：学校の教育課程に位置づけられた部活動でないと、中小体連の大会には出ることができません。教師が顧問として付いていかなければならないので、クラブ化はできません。

Q：学校は津波で浸水するのですか。

A：津波浸水区域ではない。（『田原市防災マップ』を使って説明した。）

Q：名古屋市では、もっと詳しい地域ごとの浸水予測を出していますが。

A：田原市については、この防災マップがそれにあたります。

○：自分の子どもが、小6と中3の最高学年の時に統合にあたってしまうので、どちらか一方にしてほしい。

Q：この会は、統合ありきなのですか。

A：そうではありません。

Q：では、こういった議論をすればよいのか、市側も腹を割って話していただきたい。地域の意見を聞くというが、堀切小の防災対策や伊良湖小の複式対策を考えると、早期に進めたいという気持ちが見えるが、最良のたたき台にしていきたい。

○：小学校統合、さらには中学校統合ありきならば、制服や部活動をどうするのかといった具体的な話をしたい。

Q：じっくりと話し合って、少子化のための結論を出さなくてはならなかったのに、新聞報道が先になってしまったから、市側としてはある程度の方向性を出さなくてはならないと考えているのではないか。ありきではないなら、反対ではないが、……

A：今年度末には、方向を決定したいと考えています。

Q：バス通学などは地域で見られない。どういう方向性があるのか、決めてもらわなければ。

A：伊良湖岬保育園でも説明した 校区で決める

Q：伊良湖小や岬中が合併に反対したら、合併はなくなるのですか。

A：なくなります。

Q：新設校の予定地は、岬中の跡地とあるが、岬中が移転しない時には、どこに新設をするのですか。

A：案は決まっていません。3校区がバラバラになるのは困るので、今後3校区で合同の話し合いをする予定です。

Q：地域の意見を尊重というが、極端な話、合併が白紙になるということもあり得るのですか。

A：将来のことはわからないが、あり得ると思う。

Q：高校生の娘が調べたところによると、岬中は僻地校に入っていると聞いたが、本当ですか。

A：本当です。小規模校になると正規の教員を配置してもらえなくなります。

Q：六連小や野田中などにも、話に行っていますか。

A：行っています。野田中は雰囲気的に田原中への統合に傾いています。

Q：中3で統合に当たり、3年生で新しい部活に入部することは子どもにとってストレスとなります。

A：1年間の準備期間を設け、入部できるような配慮をします。子どもたちの精神面については支えていくようにします。

Q：合併ともなると、「入れてもらう」「入れてあげる」という話になるので、福江中も廃校にして、新たに高台に渥美半島中学校のような新設校を作った方がいいと思いますが。

A：そのような財源がありません。

○：マスコミは防災について注目しています。

○：岬中の標高は17mあるので、わざわざ標高の低い中学校へ行かせることは、親としては不安であり子どもは死なせたくない。堀切小の子を助けるということは理解できますが

A：岬中は17mで、新設校を作るには適しているが、今の福江中でも大丈夫だと考えています。

○：岬中よりも高い中学校があるなら、そちらに移らせていただきたい。

Q：現在の渥美総体の所に作ってはどうか。AとBのプランがあってどちらかを選択するようにした方が、よいのではないか。

A：渥美総体という案もあったが、多目的グラウンドの真下に豊川用水の管が通っていて難しいことがわかりました。それに、岬保育園の周囲の農地を買収するためには2年間は余分にかかります。

Q：30年、40年先のことを考えると、渥美半島に子どもがいなくなるかもしれないので、渥美総体の山を削るなど、前倒しする案はないのか。

A：考えてみます。

Q：堀切小は高台への移転、伊良湖小は少子化対策、和地小は早急ではないが、この人数でよいのか、各論はいろいろ考えられるが、総論として同じテーブルについてはどうか。

○：今日は問題点をいろいろと出せばよいのかと思う。

Q：伊良湖小へ3校が行くという案もありますか。

A：3校とも校舎が老朽化しているので、できれば新設校を作り、建て直したいと考えています。

Q：伊良湖小の子が、津波の危険性の高い堀切地区を通ってくることに、伊良湖の親たちは抵抗はないのですか。

A：津波が到達するまでに、高台へ逃げる時間があると考えています。

Q：和地小に3校の児童が入ることができるのですか。

A：入れます。

Q：和地小は温度差があると、他地域の友人に言われたが、和地小だけ置いてきぼりになるのはいやです。

Q：5月14日の学校を考える会での発言が載っていない。和地小PTAで作成したものや今日の意見を議事録に残し、私たちにも確認させていただきたい。書面が出ると、そちら

の方向に流れそうで不安もあります。

Q：校舎は移っても、3年生だけは岬中出身の生徒だけのクラスを作っていただけないか。

A：せっかく合併したのなら、岬中だけのクラスよりも一緒になった方がよいと考えます。

A：学級編成の際に、適正を配慮してクラス分けすることはできる。もし5年後に合併するのなら、多少ストレスはあっても環境としてはよいと思うのですが。

Q：合併には賛成ですが、中学校と小学校が同時に合併できれば、みんな1回ですむと思います。

P T A会長：初めての会でかみ合わないところもありましたが、意見を書いていただく用紙を配りますので、今日の雰囲気では言えなかった人も、自由に書いて今週中に提出してください。

【和地小保護者懇談会参加者から後日提出された意見等】

小学校について

○合併にはもちろん賛成です。統合後の新設学校開校までの間は、和地小学校にしていきたい。（建物の老朽化や防災面を考慮して）

○防災、少子化の問題から、和地、堀切、伊良湖が一つになるのは賛成です。そして、3校の中で一番高さのある和地に来ることです。しかし、岬中に新しく建てるのはどうかなと思います。それは、土台を高くするのに土を盛らないと、津波に対する高さが確認できないというのと、子どもは生まれてみないと人数はわかりませんが、親となる人数も減っているので、新校舎を建てても、またすぐ少子化が問題になるのではと思います。今の和地の校舎を使い、畑に使っている所に必要な教室を新しく建て、余ったお金というか、その分を子どもの教育の資金に使えないでしょうか。和地小は、海や山がすぐ近くにある自然豊かな学校です。そんな所で子どもたちが、伸び伸び育ってもらいたいと思います。

○統合に賛成です。少子化のことを考えれば、避けて通れない問題ですし、堀切地区の防災を考えれば早急に実現した方がよいと思います。統合する際は、子どもたちの感情、負担を考えて、段階的に統合ではなく、3校同時で新設学校名で統合するのがよいと思います。

○小学校の統合には賛成です。他校の受け入れについても賛成です。今の岬中学校に新設の小学校を建てる案には反対です。理由として、10年後さらには20年後には、おそらくまた統合の話になると思います。先を見て、小中一貫の新設学校がよいと思います。統合対象の学校をさらに広げて、渥美地区で一つにするのがよいと思います。とにかく、未来(先の事)を考えてほしい。防災面で堀切の住民の事が心配です。子どもは統合という手段が考えられている。住民の対策も考えるべきだ。

○統合は賛成。和地に来るといふ案もあるようなので、それでも良いし、新校舎ができてからでもよいが、自然の多い和地小がなくなるといふと寂しいが、子どものため(少人数になる)仕方ない。

○統合は、とても良いことだと思います。できれば、小、中、一緒に統合していただきたいです。

○新校舎がどこにできるか分からないけど、なるべく高く、防災を備えて安心できる校舎を

作ってほしい。(自然も多い方がよい)

○耐震工事も済んでいて、高台にある和地小学校から、少し低い岬中の跡地への移行は少し不安である。

○堀切小、伊良湖小を和地小に統合し、伊良湖岬小学校と名称を変え、ジャージも新しくし、年間行事も新しく作れば、3校平等感が出ると思います。

○対応案1、平成27年度新設小学校設置を前提としての案に対し、③案、堀切小、伊良湖小→和地小に一時的に統合するに賛成します。和地小は裏山があり、とても教育活動には最高の場所で、皆さんにいい体験をさせたいなあとと思います。

中学校について

○中学校に関しては、あえて海拔の低い地域へ統合していくのは、いかがなものかと思う。防災マップでは、浸水地域になっていないと言われても、「災害＝想定外」を頭に入れて考えてほしい。子どもの安全が第一だと思います。

○中学校に関しては、今日の説明会でも意見が出ましたが、福江中学校の海拔が低いことから、防災対策をもう一度見直していただき、場合によっては高台移転も考えてほしいです。

○中学校は、部活や受験、生徒の年齢などから問題も多く、慎重に考えてほしい。

○現福江中は、6.1mと低いので、わざわざ低い方へは絶対に行きたくない。現福中か赤中なら、赤中へ行かせたい。できるならば、新しく建ててほしい。岬中+福江では人数に差がありすぎるので、岬中+福江+泉か、岬+赤中+泉+野田(←希望)

○中学校の部活動は、ある程度いろいろな部活動があって、自分のやりたい運動を選べないと力が入らないと思う。何度も話し合っても無駄かもしれないけど、いろいろな人の意見も聞いて、よい学校を建ててほしい。

○中学は、あえて低い方の福江中には行かせたくないです。できれば、赤羽根がいいです。

○伊良湖岬中と福江中の合併は、反対です。海拔の低い福江中に通わせるのは、心配だからです。

○新しい中学校を高台に建てるのが現実的に無理であれば、赤羽根中学校への統合をしていただきたいです。小学校の一時的統合が2年後であるならば、中学の統合も2年後としてほしいです。

○中学校も、福江を含め「新しい立派」な中学校を小塩津の総合体育館付近に作ったら。(少子化のため、あっちこっちをくっつける感覚ではなく、新たな気持ちになれるよう誘導してほしい)

小中を通して

○小中学校の合併には、基本的には賛成しています。しかし、中学校については、予定より早めることはやめてほしいです。子どもたちなりに、中学校に向けて準備を始めております。特に、部活動に向けてある部活に入ろうと、今からがんばっています。だから、早まってしまうといろいろな事情が変わってきてしまいます。何年度からと決まったのなら、その年度からスタートしてほしいと思います。大きくいろんなことが変わるので、親も子も心構えを含

め、準備期間は与えてほしいと思います。

○地域にとって、母校がなくなるということは、すごく大きな問題です。この合併の問題で、今までの「校区」という結びつきやまとまりが薄れること、また、地域にあつれきが生まれる危険性があることを強く心配します。だからこそ地域の声をよく聞き、ていねいに事を進めていってほしいと願っています。和地にとって大きいのは、少子化の問題です。そのために合併することは、しょうがないと考えます。ただ、この小学校の合併のために岬中学に影響してしまうことは、おかしいと思います。ましてや、岬中学が今の土地より低い福江中学に合併するのは、おかしいと思います。もし、どうしても岬中が合併しなくてはいけないのならば、赤羽根中学の方がよいと思います。赤羽根中も生徒の数が減っていると聞きました。ならば、赤羽根中に合併することで、お互いのプラスになると思うからです。また、岬地区と赤羽根地区は土地柄も似ていて、表浜同士で合併しても、大きな環境の変化がないと思います。児童、生徒のことを考えると、大きな学校に少人数が入ることよりも、同じくらいの人数で合併した方が、精神的負担も小さいと思います。また、スクールバスも42号線を一本通せばいいだけなので、都合がいいと思います。以上のような理由から、小学校は合併し、岬中の跡地へ。そして、岬中は赤羽根中と合併するのが一番合理的で、地域も受け入れやすいと思います。

○スクールバスで通学するなら、新設小中学校は、大規模の学校に合併した方がいいと思います。なぜなら、伊良湖岬地区で合併しても、近い将来、小規模校になるかもしれないからです。

○私は、合併には大賛成です。できれば早く合併してほしいです。なぜなら、私の子どもが小学校と保育園に通っていて、保育園で仲よかった友達と小学校で離ればなれになり、少人数の限られた友達と小学校生活を過ごさなければならぬ現実を、目の当たりにしているからです。友達は多い方がいい。もっと競争があった方がいいと思います。欲を言えば、中学校の合併は赤羽根中学がいいと思います。福江中学は、海拔も低いし、震災があった場合、逃げ場に困ると思います。それと、岬中の生徒の人数からして、福江中学では肩身の狭い思いをして過ごさなければいけなくなるのでは…と危惧します。合併の弊害が軽減できるのは、赤羽根中学校だと思います。

全般を通して

○今日の説明会では、論点のずれた意見が多く残念でした。和地校区には、今回の問題をまだまだ他人事のように感じている人が多いように感じました。今後も、説明会を開くとのことですが、その中で伊良湖、堀切、和地校区の合同説明会、意見交換会の場を設けて、3校区全体でこの問題を話し合えたらと思います。

○先日の話し合いは、少し残念でした。もっと、統合してからのことも質問させていただきたかったです。また、話を伺える機会を作ってください。

○小学校、中学校全てを一緒に統合しようとするからなのか、前に進んでいかない気がします。まず一番初めに何を急ぐか考えたとき、堀切小を助けるのが大事じゃないんですか？まず堀切小の子どもたちが、一日でも早く高台の学校に通えることを一番に動いてほしい。

統合しなくても死なないし、部活の大会に出られなくても死なない。津波は死にます。全てを動かすには時間がかかるので、『堀切の子どもたちを助ける』、これを第一に考えてください。

○子どもたちの安全を第一に考えてほしいです。いざとなった時は、学校で先生たちに見てもらうといけないし、登下校の時は、スクールバスなら通学路もちゃんと考えてほしいです。どの学校もこれからは少子化になっていくので、統合は仕方がないと思います。でも、順番をちゃんと守ってほしいです。説明をちゃんとしてほしいです。和地だけが取り残されないようにしてほしいです。

○今回、せっかくこのような案を出していただいたのに、実行されずなくなるのは、小さい子を持つ親としては不安です。実際、高学年の子を持つ親でもあるので、中学での統合は不安で仕方ありません。しかし、そんなことを言っても前には進めないのが、なるべくみんなが平等になるように進んでいけることを願います。ありがとうございました。

○少子化のため、学校の再編は必要。生徒、住人が前向きな気持ちで行えるよう提案すべし。

○「防災・少子化に伴う小中学校の再編について」とありますが、現時点で行うべきは、「少子化、防災に伴う伊良湖・堀切・和地小学校の統合について」ではないでしょうか。マスメディアの報道により、南海トラフ大地震に伴う津波のため統合される小中学校のように感じ取れますが、本来、今行うべきは、伊良湖・堀切・和地の3小学校の統合であり、来る平成27年の伊良湖小学校の複式学級の回避を行うことと3小学校のこれからのことを考え統合するべきと考えます。本来この問題だけのことを考えれば、立地的に堀切小学校への統合が最善と考えられますが、防災面の不安と堀切校区の移転要望があるため、伊良湖小学校または和地小学校へ統合のどちらかを、これからの9ヶ月で結論をだすことを求めます。

※3月議会への議案提出のためには、もっと早期に結論をだすべき？

また中学校の統合については、伊良湖中学校を福江中学校に統合するだけではなく、泉中学校を含めた3校での統合をすべきだと思います。説明で「野田中学校は田原中学校の方を向いている。」とありましたが、泉中学校は基本方針内の適正規模・適正配置に適合しておらず、平成24年4月1日の統計では生徒数は市内で一番少ないはずですが、対応方針では、伊良湖中学校が、「Ⅰ．緊急地域」に含まれる理由は6学級未満だけであるのに対し、泉中学校は、生徒数120名未満、包括小学校1校、6学級未満なのに「Ⅲ．検討地域」であるので、早期に「学校を考える会」を設立し少なくとも「Ⅱ．先行地域」への対応をお願いします。

最後に、個人的質問になりますが、伊良湖・堀切・和地小学校の3校の統合についての意見交換の場は、どれくらいの頻度で行われますか。またこれからのスケジュールの発表はありますか。6月7日の議会で彦坂議員からの一般質問のなかで、教育部長から「2年後に3校統合。」というフレーズがありました。また教育長の言葉から、統合は確実と感じ取りました。和地小学校のみ小規模校のまま、また後からの編入は望みません。伊良湖地区のための小学校であってほしいと思います。※旧渥美地区のための中学校であってほしいと思います。

「学校を考える会」について

・市（教育委員会）や他組織などへの交渉権はあるのか？

- ・和地校区の結論を出す会なのか？
- ・意見をどこかに提出するのか？
- ・会議等がおこなわれているのか？
- ・組織への加入はできるのか？
- ・外部者（知識人や他校区）の加入、参加があるのか？

質問等

○対応方針に、Ⅰ緊急地域に伊良湖岬中が入っており、伊良湖岬中より少人数の野田中、泉中が入っていないのはどうしてですか？

その他 ＊直接、学校再編とあまり関係ないもの

○防災からは、堀切の住民の救済策を提示すべきと思います。何度も発表しないと”風評被害”が堀切だけでなく、田原市全体に広がる恐れ。そうってからでは遅い。

○学校再編は、もう防災の中の一事業になったと思います。それを自覚して、市、住民は振る舞わないといけなと思います。(学校の再編を行うのに、防災を利用したと、特に外部の方に思われたら、田原市のイメージダウンは計り知れない。)

反対意見

○新聞記事を見て大変驚きました。記事には「住民に説明済み。賛成同意を得た」ような文面。いつどこで決まったの？という感じでした。子どもたちもちろん動揺し、「わたしの母校は、全部亡くなっちゃうね…（和地保育園、和地小、岬中すべて）」ととても寂しそうな様子でした。子どもたちの心を考えるなら、不必要な合併は避けるべきだと思います。津波のことを考えるなら、和地は合併の必要はないでしょう。現在よりも危険地域に足を踏み入れることになるからです。福江中との統合も意図が分かりません。安全な場所へというなら、現在の役場支所の場所が海拔も高く、一番安全と考えます。空き部屋の多い役場など、あんな大きな建物は無駄だと思います。福江中は、生徒が荒れているとも聞きました。そんな中学へ行くよりは、赤羽根中の方がいいです。小規模校をなくし、マンモス校を作りたい教育委員の目的も分かりません。小さな学校には小さな学校なりの良さがあり、先生の目も全て児童に届いて、親から見ればとてもありがたく、うれしいです。行事も親の参加だけでなく、地域が参加し、とても温かみのある学校が出来上がっています。今の岬保育園は、地域との関わりが薄いと思います。もちろん、小学校へ遊びに来ることも、小学生が保育園へ遊びに行くこともなくなり ました。統合して遠い存在になってしまうのは、とても寂しい気がします。以上のことから、現段階では統合には反対です。これから話し合いがなされるともいますが、まずは地域住民（当事者）に話を通していただきたいです。

平成 25 年 6 月 11 日(火) 伊良湖小学校保護者懇談会

Q：平成 27 年に 3 校を一時的に統合することは納得いかない。

A：この案は、たたき台として示している。

Q：③案の堀切小、伊良湖小が和地小に一時的統合にしたいと思える。

A：あくまでたたき台として示している。3 校一緒に説明して、それぞれの考えを聞いても

raitai。

Q：通学時間30分は無駄な時間。津波も心配。

A：3校は一緒に動いてもらいたい。岬連合のことを考えれば3校は一緒が良い。

Q：賛成が多い、少ないで決めるのか？

A：地域の意見を尊重する。

Q：急傾斜地はどうか？

A：明治43年に学校ができてから崩れたことはない。学校も避難マニュアルを作っている。

絶対に崩れないかと言われれば分からないが、学校も避難訓練を行っている。

Q：急傾斜地が理由で避難場所が変わったのではないか？

A：避難場所は建物がない場所。市民館の前に土地が確保でき、昨年度避難場所を変えた。

地震が起これば机の下、グラウンド、市民館へと避難する。学校で避難場所に指定されていないのは泉小と南部小。若戸小も急傾斜地だが、グラウンドは避難場所に指定されている。

Q：もし和地が統合しないと言え、伊良湖小は複式学級になるのか？

A：亀山小と統合という案もある。複式学級を回避するためには統合しかない。

Q：亀山小を外していることで選択肢が減っている。

A：亀山小を入れるには中学校区を変える必要がある。

Q：亀山が伊良湖小に来てくれれば人数的には問題ない。

A：現実的ではない。歴史的にも3校が一緒になることが良い。

Q：堀切が伊良湖と一緒にすることの方が良い。

A：そういった声は聞こえてこない。

Q：伊良湖は外されている。

A：これまで、そういった意見は聞いていない。3校区合同の説明会を設けたい。

Q：福江中へ行くと「ガラが悪くなる」「学力が下がる」と言われている。

A：荒れた時期は赤羽根中、岬中でもあった。学校への指導はしっかり行っていく。

Q：人数が少ない学校の生徒の方が弱い。

A：時間が解決していく。

Q：3校合同説明会の日程は？全員参加か？

A：まだ決まっていない。校区会長と相談して決めていく。

Q：具体的なスクールバスの案は？学校行事のすり合わせは？

A：準備期間として1年間を考えている。この間にスクールバスのコースを考えていく。部活動の練習、試合を合同で実施するなど融和を図っていく。

Q：期限間際で決まっても大丈夫か？

A：1年間あれば何とかなる。

Q：3月になっても統合することが決まらなければ複式学級になるのか？先生は準備しているのか？

A：統合しなければ4月からは複式学級のカリキュラムを始める。先生は準備をしている。

Q：4月に統合することが決まっても複式学級か？

A：3月までに決まらなければ複式学級になる。複式学級に踏み込もうとしているのか、何とか手立てを打ちたいのか？複式学級でいくという覚悟をしているのか、何とか解決したいと考えているのか？

Q：できることなら堀切に来てもらって複式学級を回避したい。中学校はどういった様子か？

A：和地は、福江中よりも赤羽根中。

Q：その話しにのると伊良湖からは遠くなる。堀切も同じか？

A：赤羽根から伊良湖まで自家用車で約20分。バスなら30分くらい。3校区が集まった時に、そういった話しをしていただきたい。市教委としては、3校一緒に考えている。友達関係が切れてしまうので、堀切校区としては一緒に移りたい。

Q：福江中を渥美支所の周辺（岡ノ越）に移すことはできないか？新設であれば統合されたという気持ちも和らぐ。

A：今のたたき台にはないが、研究する価値はある。

Q：いきなり行けと言われても子供が対応できるのか不安。子供も不安になっている。

A：心の問題。準備期間を1年は持ちたい。取材では正確なことが伝わるよう対応する。これからも3校合同説明会を開催するなど機会をつくっていききたい。意見を書いて学校に出してもらえば市教委に伝わる。

Q：書いた質問は見ることができるのか？

A：方法は決まっていないが公開はしたい。できる限り出したいので方法を考えている。

平成25年6月14日（金）伊良湖岬中学校保護者懇談会

Q：小学校の統合は止むを得ないと思うが、自分自身は岬中学校の統合を考えていなかった。

A：中学校統合の考えは今年の4月になってから決定した。小学校の場所は渥美運動公園、岬中の2箇所を検討した。渥美運動公園は多目的広場（フェスティバル会場）下に豊川用水が埋設され地上権設定されていることと、伊良湖岬保育園横の農地転用が必要となる。一挙に解決を図るために統合小学校の位置を岬中学校とした。

これまでの説明会での意見の中で、赤中への統合を希望する意見もでている。福中（海拔6～7m）と赤中（20m）の違いは海拔の差があり、安全を考えての意見として、また、福中地域の気質の違いから赤中を希望している意見がある。

赤中への統合の意見が多ければそのようになっていく。

Q：たたき台のプランであると、小3の子が小学校・中学校の最高学年で2度にわたり統合することとなる。

A：H30の中学校の統合を1～2年前倒しすることは可能と考える。

方針が決まった段階で最低1年前から、部活動や行事などの交流によって移行準備をしていきたい。

Q：高台である古田町岡ノ越（渥美支所付近）に、旧渥美町全ての小学校の集約をしてはどうか。

A：財源的にも難しいと考える。

Q：泉校区の統合の動きの状況はどうか。岬中と泉中をいっしょに統合した方が良いと思う

のだが。

A：現在、学校を考える会の設立を依頼しているところである。

Q：通学についてスクールバスはでるのか。また運賃は必要となるのか。

A：スクールバスは、コミュニティバスとしての活用の役割も含め検討していくことになる。

スクールバスの運賃は必要ない。

総論が決まれば、個々の各論について順次決定していくこととなる。

Q：4つの案を最終的に決定する時期はいつ頃となるか。

A：総論的な決定は、年内（12月末）には行っていきたい。

Q：いろいろな考えがあり、意見はまとまらないと思うが、その場合はどうするのか。

A：できるだけ多くの意見や考えを聞いていきたい。最終的には、校区の意見、PTAの意見を取りまとめていただき、最終的な判断は教育委員会で決定する。

Q：統合に反対の場合にはどのような運動をするのが良いか。また、そうした意思表示はどうすれば受理してくれるか。

A：署名運動でも構わない。ただし、あまりに少数すぎる意見は切り捨てる。

Q：体操服などが変わる事など、細かい事がわからないと、今回の件もなかなか判断できないが。

A：最低でも1年の移行準備期間を設け、対応していきたい。学校間の違いをどう許容できるかについては、移行期間の中で課題解決をしていきたい。そうした中で移行期間が延びていっても構わない。

Q：一度、この中で今回の件について賛否をとってはどうか。

A：それでは、この中で小学校中学校の統合に反対の方はいますか。

（特に反応なし）

Q：私は小学校の統合は賛成だけど、中学校の統合は反対です。

A：教育委員会では、小学校の統合は中学校の統合とセットであると考えています。

Q：福中ではなく、赤中与統合したほうが、生徒数のバランスもよいと思います。

A：では、小学校の統合は賛成だけど、中学校の統合には反対の方はいますか。

（3名ほど手を挙げる。ざわざわした中で「赤中ならいいけど福江はイヤ」という声が結構聞こえた）

Q：（統合は）子ども達にとって精神的に大きな負担となると思うが、そうした場合の心のケアは考えているのか。

A：移行期間の中でしっかり対応していきたい。

Q：個人的な意見ですが、私の子どもが中学3年生の時に統合するのは嫌です。受験を控え、今まで培ってきたことが崩れ、メンタル面で大変気になります。

A：当然であるが、子ども達をしっかりフォローする体制をとっていく。

Q：今後、アンケートなどを考えているのか。

A：アンケートの実施や、そのやり方については現在決まっていない。世帯毎で行っていくのか、また、中学生なら判断することは可能であるため、意見を聞くことも必要ではないかと思っている。

Q：アンケートを行う場合は、子どものいる世帯を優先して行ってほしいと思います。

現在生徒が多い世代（現中学生）の意見をよく聞いて、考えてほしい。

地域全体で行うアンケートと、統廃合に関係する世帯のアンケートは分けて実施したほうが良いのではないかな。

中学校の統合に関しては、アンケートの中で福中か赤中のいずれかを選択をさせるものとしてはどうか。

A：これまで意見を聞いてきた中で、福中に対する印象がよくないことは聞いている。原因としては福中のある場所の標高は低いことと、地域性（表浜と内海の居住者の気質が異なる）が違ふと考えられている。

Q：和地小のエリアであれば、赤中に通うほうが近い。

A：和地校区や堀切校区は赤中へ行ったほうが近いが、伊良湖からでも30分で赤中に行くことができる。どうやって中学校を決めるかはもう少し議論してからのが良いと思っている。

Q：統合による良い面をもっとPRすればよいのではないかな。例えば、部活動の選択肢が増えることや、先生の数が多くなることなど。学校が大きくなるメリットがわかりにくい。

A：今後はそういった情報を提供していきたい。

Q：福中・赤中とも、校舎に受け入れるキャパはあるのかな。

A：どちらも大丈夫である。

Q：渥美支所を壊して新しい学校を建設するか、もしくは改装して使用し、体育館やグラウンドを渥美運動公園のものを使用するのはどうか。そうすれば費用も安く抑えられるのではないかな。

A：現実的でないと思う。費用的には一度積算をしてみないと分からない。

Q：福中は防災面で大丈夫といえるのかな。

A：現在の被害予測は南海トラフ地震の最悪の状況を想定してあるため、大丈夫といえる。ただ、想定外の場合はどうするのかと言われたりもするが、現状の最悪の場合の考えでは大丈夫である。

Q：和地小学校に堀切・伊良湖全ての小学校を統合すれば良いのではないかな。

A：その案もあるが、和地小は背後の山が急傾斜地の指定を受けているため、私自身としてはどかしたい（統合する）し、和地小の建替は考えていない。

Q：小学校と中学校をいっしょにすることはできないのかな。

A：小学生と中学生では体格の差もあるため、校舎の仕様も異なっている。

Q：現在の子供達のある特定の年代が統廃合の影響を受ける。今まで通っていた学校が無くなるというのは、子どももさみしいと言っている。子どもの意見を聞いて考えてほしい。

A：子どもたちのことを考え、配慮して統廃合を行っていきたい。

Q：こういった形で決まるのかな。

A：3つの小学校区で学校を考える会があり、一緒になって考えることが必要。

少しづつまとまっていったものを集約。

3つの校区にまたがった考える会がいいのか、みんなの考え方をもらいたい。

Q：津波が心配、計画案では遅いのでは。

A：子供たちのことを考えると1年くらいの準備期間が必要と思う。

Q：和地では前倒しありと話が出た。

A：前倒しも考えられるが、一緒に部活をやったり、ルール作りも必要かなと思う。

Q：津波を考えるのなら、早くしなければならないのでは。

A：たたき台として提案している。

Q：中学3年生では受験を控えている。統合したときに各学校では成績の付け方が違うのではないか。

A：学習面は問題ないを考える。成績は絶対評価であり、どこまでできれば何点という風であり大きな違いは無く、見る視点も大体同じ事となっている。

Q：通える範囲の中では何処が一番安全なのか。

A：防災マップの提示。福江中は浸水想定区域ではない。

○：高いところが無いが、どのようにして逃げるのか。親としては、標高の低いところへは通わせたくない。

Q：学校を作る予算に余裕はあるのか。また、福江中の親はどのように考えているのか。

A：福江中にはまだ話をしていない。

Q：岬中跡地と言っているが、廃校ということか。

A：3つの小学校区を合わせた場合、ここがいいのではないかと考える。福江中には方向が決まっていないので投げかけはしていない。

たたき台が無いと話ができないということから、たたき台を作った。

総体の所も考えたが、豊川用水の本管、段差があり、敷地の確保が難しい。

○：渥美支所のところはどうか。山を削ってでも安全なところに作ってほしい。

○：統合については反対ではない。鳥羽では5校くらいを統合し、400mくらい坂を登らないといけないうちに学校を作った。

Q：小中高一貫の学校は考えられないのか。

A：聞いたことはあるが難しいのでは。

○：このような話し合いで出た案がどうだったというだけで終わってしまうのではないか。

○：やる前から時間がかかるとか言っているのはおかしい。

○：例として、小学校が和地に集まればしばらくの間はそのままとし、中学校はゆっくり考えることはどうか。

○：0才児以降でも増える可能性は無いのではないか。

Q：資料の人数が違っている。データに騙されているのではないか。

A：住民基本台帳から抽出している。学校の児童・生徒数を入れると保育園以下的人数で整合が取れなくなるため。

○：市として過疎地にならないような政策をやってほしい。

○：津波の想定とか、報道が大きく取り上げているため、嫁も来ないのではないか。

○：堀切小に子供が通っている。津波の危険を考えれば早急にどちらかの学校に移動しなけ

れば行けないのでは。

○：この時期を逃したら新設学校ができないのなら、小中一貫校をドカンと建てることはできないのか。

Q：渥美地域を一つとして小中一貫校ができないのか。

A：長いスパンとなってしまう。

○：資料の人数データ以降で子供の数が少なければ、また統合もありえるのではないか。

Q：小学校を岬中の所にしたいので、中学を追い出すのか。

A：各小学校も老朽化しているため早く新設小学校を作り、また中学校については小規模化し部活動等の課題があるため合わせて解消していくのがこの案である。

Q：小学校については大体賛成で、中学校については反対意見が多いのではないか。泉中が赤羽根中に行くという話しも聞いたがどうなっているのか。

A：泉地区での会合はまだ行っていない。

Q：なぜ岬中が緊急地域に入っているのか。

A：岬中小規模化の解消と、新設小学校をセットで考えているため。

平成21年度に全小規模対象校に説明を行っている。

Q：想定外を考えると福江中の標高は低く、山も無いため逃げるところが無い。標高の高いところから低い学校へは通わせれない。

A：太平洋沿岸では地震が起きてから津波の到達まで十数分。且つ津波の高さも相当高い。三河湾側では太平洋側と比較すると津波到達時間も遅くなり、想定の高さも3～4mであるため多少の違いがある。

Q：岬中の部活の話だが、早急に文化部を作ることができないか。運動の苦手な女の子が無理やりにテニスラケットを持って部活をやっておりものすごく苦痛のようだ。顧問の教員が毎日いなくてもいいので文化部を作ってほしい。

A：難しい。

Q：和地小に3校集まったときに教室数は大丈夫なのか。

A：特別支援のクラスが仮設教室になる可能性がある。

Q：新小学校は伊良湖岬保育園の横に建てればよい。用地の買収などに2年かかるのであれば、それを待って建設していけばよいのではないか。

A：一度検討してみたいと思います。

平成25年6月17日(月)堀切小学校保護者懇談会

Q：新設小の建設を反対する人はいないと思うが、防災対策課と打合せはしているか？

A：たたき台の段階なので、そこまではしていない。新設小ができるまでに7年かかるので、できるだけ早く高台移転をしたいという意味合いでここに書いてある。

Q：日出と堀切の間に浸水すると伊良湖小は孤立する可能性が高い。伊良湖は医者がいらない、トリアージもできないため反対である。参考までに3校区の意見としてはどういうものがあるか

A：伊良湖は堀切が来てくれればよいという意見と、和地へ行ったほうがよいという意見が

ある。堀切は伊良湖よりも和地へ行ったほうがいい意見と現状維持でもいいという意見、和地は来てもらうほうであるためどちらも問題ないという意見。

Q：伊良湖小に行きたいという意見があるのか？

A：こちらが考えたたたき台である。堀切の方は現状維持か和地へ行く意見が強い。

Q：小学校の統合は和地小への一時的に統合が妥当であると思うが、中学校は岬中学校で防災の対策はとれているのに、わざわざ標高が低い福江中への統合は乱暴なのではないか？

A：岬中学の統合はひとつは小規模化、福中の海拔は6～7m、岬中が17mですから大分違うではということであるが、市の考え方は防災マップ上まず大丈夫であると考えている。いろいろな意見の中で赤中への統合の意見が多い。

Q：決定ではなく、皆さんの意見を聞いてどちらかにするということか？

A：そのとおり。皆さんの意見、校区の意見、保護者の意見を聞いて総合して決定する。

Q：新聞報道では福中という書き方になっているため、そうなっていくという疑問があった。

A：新聞報道は最後まで読むと教育長の談話もあくまでもたたき台と書いてある。

Q：地域の皆さんと話しあいながらと言いつつ、今回報道が先行した理由は何か？

A：情報が漏れたわけではなく、一般質問の発表があり、その質問事項を見て報道が取材にきたということである。

○：地域の皆さんと話しあいながらであれば、私はいいと思う。

Q：統合した場合、スクールバス等で堀切小全員乗せていけるのか？

A：基本的には和地へ行くのであれば、堀切・伊良湖の子はスクールバスに乗ってもらう。文科省の基準は小学生で4キロ、中学生で6キロとあるが、できるだけ使えるようにしていきたい。

Q：統合は止む無しと考えるが、岬中の統合は先の話であるし、小中一貫を含めて検討する案に加えて欲しい。複式が悪いというが、そういった検討をしていけばどうか。

A：それも検討したが、中学生を基盤として作っているため、小学生がそのまま生活するには問題である。小中一貫校は中学生の生徒数が増えるわけでない。

Q：それを含めて、適正規模適正配置の考え方を検討してはどうかという意味である。

A：そういったご意見があると受け止める。

○：さきほどの（男性）の意見、賛成します。

Q：新設小は岬中の跡地に盛り土をして建てるということだが、和地小を改築して使えばよいのではないか。

A：一案であるが、小・中の移転をセットで考える。和地小のネックは山を背負っている。

Q：堀切小PTAの意見は、防災のことを考えると小学校の統合は賛成である。なるべく早急に和地小への一時的な統合を進めるべきで、それ以降のことについては中学校がどうなるか分かってない中では結論がでないので追々と考えている。

少子化考えると新設小学校は岬地区の3校だけでは不十分、もう少し幅広く、例えば旧渥美地域の小学校を視野に入れ渥美運動公園周辺に小学校を新設することが望ましいと考えている。

保育園もあり高台であるので、親も安心できる。少子化・防災の観点を踏まえ、検討していただきたい。

A：中学校もセットで考えている。亀山小や他の渥美地区の小学校の統合については、第2弾として考えていくべきであると考えている。

Q：最優先課題を教えてください。

A：津波防災である。

Q：自分は（統合に）賛成派だが、小学校の移転はすぐにでも行ってほしいが、それは可能なのか？

A：準備期間が最低1年いる。いろいろな面の調整を行わなければならない。

Q：それでは最優先課題の防災面と矛盾が生じる。そちらの都合であり、市民は津波が心配なので、最短でいつ移転できるのか。

A：最短でH27度からである。矛盾するかもしれないが、新しい学校の準備期間として必要だと考えているが、もっと早い時期の話も検討させてもらいたい。

Q：人数が減ってきている中でH32度の新設小を新設するというのはどうか？小中一貫校としたほうが費用がかからないのではないかと？和地小を改修するのでもよいのでは？

A：3校全てが老朽化しているため、これを機会として建替える。和地の建替や改修も一案である。これが決定ではない。

Q：和地小と福江中の避難場所はどこか？

A：和地小は一時避難として小学校校庭、その後和地市民館、福中は学校がそのまま避難収容施設となる。

Q：中山小はどこに避難するのか？

A：津波の場合は中山小校舎、地震の場合はグラウンド

Q：和地小の意見が多いというのをはどこで判断するのか。伊良湖は少子化、堀切は防災、和地はどちらも危機感がない中、3校区の意見のすり合わせはどのようにするのか。

A：いずれは3校区合同の説明会も開催するし、最終的には3校区の校区会長にまとめてもらう。

Q：どうやって意見を纏めるのか何回聞いてもわからない。

A：纏め方は校区によって違うと思う。校区である程度決めてもらう。

Q：この場での多数決により、意見を決めればよいのでは。古い意見は削除し、新しい意見はのせていくとかすればよい。

A：校区の意見もある、ここで消すのはどうかと思う。

○：なるべく早く決めていただきたい。

Q：新設小はどうしても岬中を福中に移転させないといけないのか？

A：福中への移転限定ではないが、小規模化を考慮しセットで考えている。しかし、地元の意見により別のところも検討する。

Q：どうしても低いところ（福中）に行かせたくない。福江の方が岬中にきていただく考えはないか。

有名な先生（片田群馬大大学院教授）が講演に来た際、「想定にとらわれない」とおしゃ

っていたことが心に残っている。想定では福中は浸水区域ではないが、親の心情としては避難訓練をしており、和地小の統合の意見があるが、そのために中学生を低いところに行かせたくない。

岬中の位置はダメなのか？

A：岬中の少子化を解決したい、堀切小を高台移転したい、3つの小学校を一步にしたいというのを総合的に考えると岬中を福中あるいは赤中に統合するのが一番良いのではというのがわれわれの考え方です。

Q：この間岬中の説明会に行ってきたが、そこでの意見は岬中をそのまま残して、小学校の合併を考えると意見が多かったと思うが、今日の説明ではそのことがない。

A：まだ、そこまで整理されていない。そういった意見もあったのであわせて整理していきたい。

Q：そういう意見を整理して、一斉配布する気はあるか。

A：5月いっぱい意見を整理して近々にHP等で報告を考えている。6月に入ってからのもはもう少し後で報告をしていく。

○：こうした文書？をいつ発行したかをきちんと入れておいたほうがよい。よろしくお願いします。

Q：中学校の統合が決まらないからといって、小学校の統合が遅れるのはやめて欲しい。

A：ご意見として伺います。

Q：校区ごとの意見を集約し、市の方針を示したものがほしい。そのことであれば議論ができるが、今のままでは意見集約もできず議論が深まらない。内容の濃い資料としてもらいたい。

A：3校区の合同の会を設けていく時に、そうした資料を提示する。

Q：最優先を防災として考えるのであれば、中学校の問題を一度切り離して考えてはどうか。小学校と中学校の問題をセットで考えなければならないのか。

A：気持ちとしては現在そう考えているが、一度検討する。

Q：今の計画では同じ学年が小6と中3で統合される。小学校の方は早く統合してほしいんですが・・・

A：今のたたき台ではそうなっているが、考慮していきたい。

Q：当事者の子どもが不安定になっているので、そのことに配慮してほしい。

A：十分受け止めさせていただく。

Q：中学校の部活動は、現在強制（参加）なのか？

A：田原市の中学校では全員参加でやっている。学習指導要領の改訂があつて教育課程で部活動が位置づけられ、そこで生きる力を育む重要性が見直されていて、人間関係が培われたりなどの効果がある。

○：岬中の部活は帰宅部があるなど自由な形があつてもいいと思っている。

Q：この問題はPTAだけでなく、地域全体の問題で、校区などへの話がどういう風に進めていくのが重要では？

A：もちろん、校区会長・自治会長と相談しながら話を進めていく。

Q：さきほどの堀切小PTAの意見で、小学校の建設場所は先を見据え、渥美運動公園の周辺への建設が望ましいとの意見は、堀切小の意見としてあがっていけば今後検討されるのか。

A：そういう意見があれば検討していく。ただ、渥美運動公園周辺への移転となると、H32の移転はもう2年余分にかかる。

Q：津波の想定が関係ない（津波がこないところ）に学校を造ってもらえれば時間がかかっても仕方ないという方向性はだめなのか。

A：もちろんそういう方向性である。

Q：今の回答からすると、H32度にこだわらずに和地小へ統合し、用地買収に2年かかるが、新設の小学校と中学校ともに意見としてあがれば可能か。

A：そうです。

Q：テニスコートとか野球場はダメなのか？

A：そういう考えもある。

Q：フェスティバル広場はかなり広い。本管があっても建設は可能なのでは？

A：そこまでは検討していない。小学校1校当たり約3丁歩必要。多目的グラウンドは借地（小塩津所有）である。

【堀切小保護者懇談会参加者から後日提出された意見等】

○統合はしかたないかなと思います。27年度小学校統合だと、今の4年生が6年生で、30年度中学校統合だと今の4年生が中学3年生になる時。

今現在小学4年生の子にとっては、とても負担だと思うし、メンタル面心配。

岬中統合はできれば赤羽根中へ、小学校は和地小に統合が良いのでは。…と思うが小学4年生、とても心配。

○現在の小学4年生は、6年生の時に小学校が統合、中学3年生で福江中に移転する案がでているが、親として子供たちの精神的負担を考えると、この案に賛成できない。

この件については「対応する。」と教育委員会が話したが、具体的にどう対応するのか、ぜひ案が決定する前に保護者に話して欲しい。

少子化よりも子供1人1人を重んじた再編を願います。

○運動公園を活用して体育館・グラウンドをそのまま使用して校舎を新築しては。そのほうが早期に実現しないでしょうか？

いつ来るかわからない津波ですが、いつ来てもおかしくない津波です。

防災面を重視するなら1日でも早くお願いします。

○津波のことを考えたら早い合併を望みます。

和地小学校へ3校が一緒になるといいと思います。

早くといっても色々なことをしっかりと考えた上での方がいいと思います。

○最重要課題は地震・津波の防災と聞きました。ならば7年も時間をかけていてはダメだとおもいます。元々、保育園は一緒だったのですから合併しても子供達はすぐになじめるでしょう。ジャージがバラバラでも、子供達は、大人が思っている程気にしていません。子供達

を想うのならもっと早く堀切と和地を合併してあげて下さい。

少子化は田原市だけの問題ではなく、日本の課題でもあります。多くの人がこの問題に興味を示しています。

最先端の課題を良い方向へ導いてくれる田原市だと信じています。

○渥美運動公園を地域の教育・防災の拠点として考えて欲しいです。

小学校の3校合併は、少子化もありやむをえないが堀切小の子供たちはどこにいても逃げられる訓練をしている。

新設小学校は防災拠点として考えるのであれば岬保育園(渥美運動公園)が適している。和地は土砂崩れ、伊良湖は孤立化の危険がある。

同じ子供が小学校でも中学校でも合併の負担を強いられるのは精神的負担が大きい。

岬中学校は防災上問題ないので、時間がかかっても小学校は渥美運動公園へ、中学校は安全面と少子化による統合がさらに進むことを考えて、適切な場所に統合すべきである。岬中から福江中への同時進行の合併は少子化・防災・子供たちの精神負担に問題があり再考すべきである。

○小学校の統合は賛成です。設置場所は③案か岬保育園付近に新設していただきたいです。

中学校の統合は高台に行く案なら賛成です(すぐでなくてもいいと思う)。

生徒の意見等を聞き、統合後の不登校の生徒数が増えることのないよう慎重に進めて行っていただきたいです。

○新しい小学校と中学校の場所は総合体育館の所が絶対にいいと思います。

福江中学校も移ったら安全だと思います。

私たちは東北の地震が起きてから、この辺りも危険区域になって、いつくるのかとても危機感があるのに、市役所の方々はのんびりしている感じがして、本当に私達の声は届くのだろうか心配になりました。

堀切や小塩津に住んでみて下さい。そうすれば、私達の気持ちがわかるはずです！子供達を守る為にお願います。

○小学校は保育園の流れから再編には賛成ですが、できれば岬中学校はそのままにしてほしいです。

○説明会に参加してみて、私たちの意見に対して「とりあえずメモしておきます」との言葉。初めから私たちの意見を聞く気がないように感じました。

質問にしても、自分たちの決めたことでしか返事が返ってきません。

合併には反対ではありません。

小学校は、とりあえず和地小に。中学は、わざわざ低い土地の福江ではなく、赤羽根中への方がいいです。

○岬小学校では、先が見えてしまいます。10数年でまた、再編の話がでてきて、新設してもすぐ廃校になってしまうから、渥美地区で1つの小学校にして下さい。防災の面から考えて渥美総合運動場か渥美支所に新設して下さい。

○まず！防災についてが最優先では!!どうしても少子化がメインのように聞こえてしまうのは私だけでしょうか？

堀切小の保護者としては、とにかく一刻も早い(できれば来年!!)和地小との統合を望みます。今の渥美総合運動公園への避難に関しては、実際の地震が起こった場合、避難道の安全面(ハウス・塀の崩壊、車に対する安全、小塩津放水路の津波の逆流など、あげたらきりがありません)先生方のみでの避難がどこまでできるのかなど、不安がたくさんあるのが実情です。

先日の説明会では、統合するのには、色々クリアしなくてはいけないことがあると言っていました。

確かに先生方の配置は大変かもしれませんが、正直、体操服などはどうでもいいです(市役所の方か教育委員会の方はそろえなければと言っていました)…そんなのおかしいです。それより子供の命が大切なのに!!)。バラバラでもかまわないし、名前だって保育園、中学校と「岬」という名前がついているので、小学校も「岬」をつけても全然いいと思います!

堀切小と他の2校とは温度差はあるのは当然だと思います。それは十分承知してます。だからこそ、この堀切小の現状を教育委員会なり、市役所がきちんと説明し、わかってもらい統合をすすめていってほしいのです。

想定はあくまでも想定でしかないのです。それを上回る可能性があるのが自然の脅威なのです!!考えてみて下さい!自分の大切な子供達が危険にさらされている状態なのです。みなさんのお子さんならどうされますか?同じ田原市民なのに…。

中学校とは切り離れた状態で、まず何をすべきか考えて下さい。お願い致します。

○総体の高台へ、保育園・小学校・中学校を建てて、3つ一緒のところがいいです。地震で迎えができたとしても、バラバラの所へ迎えには行けなくて、あきらめるハメになったらくやしい…。

とにかく高くて安全な場所への移動をお願いします。

○伊良湖小、和地小に一時的に統合はどちらでも良いが、スクールバスが通る海拔の低い所は、すぐに堤防が必要。

中学校は、赤羽根中と統合し高台に移転を希望。

○危険な事を考えるなら、中学は福江中(6m)ではなく、絶対に赤羽根中(22m)と合併だと思います。これはゆずれません。

あと危険という理由ならば、早急に伊良湖岬小を保育園の近くに造るべきです。堀切の子があっちこっちいって振り回され、かわいそうです。大人の都合でこころ人間関係がふりまわされるのは我慢できません。

○小学校は伊良湖へ行くより和地の方がいいと思います。

中学校は福江より赤羽根のがいいかとも思いましたが、学校へ行くまでに港があるのが心配です。

○すぐにでも安全な場所へ移って欲しいです。今ある校舎を使って、洗面所が高いなら踏み台を用意すればいいし、体操服は統一してなくてもいいのではないのでしょうか。その準備に時間がかかるというのは納得いきません。今すぐに安全な場所へ移して下さい。子供達の命を守って下さい。

中学校は、旧渥美町で統一中学を渥美支所の建物をリフォームできませんか。

渥美中学として名前も残るし、土地を買うこともないし、真ん中にあるし、泉中の統合の

話はないみたいですが大丈夫なんですか？泉中も含めて考え直してみて下さい。低いところには行きたくありません!!

○一日でも早く統合願います。

○和地・堀切・伊良湖 統合し伊良湖岬小学校にする事をお願いしたいです。

場所は、できれば保育園近くを希望します。

中学生にもなれば自分で行動可能ですが、小学生は、まだ大人の手助けが必要と思います。今、堀切に関しては、総体が避難場所になっていて、小学生の兄弟、保育園の子も多いと思う事を考えると、兄弟が近くにいるのはいざという時、安心感があると思います。親も一か所の避難場所で幼い子供がいた方がと考えます。

○岬中学校→福江中へ行くのは反対です。防災が優先ならわざわざ低い所に行かなくてもいいと思います。

行くなら赤羽根中がいいと思います。

○防災と少子化を考えるなら、渥美支所などの高い土地に旧渥美町の全小中学生が学べる学校を作るべきだと思います。

○なぜ伊良湖岬中は、わざわざ低い福江中学校と合併しなければならないのか。

命の保障が確実ではないのに、福江中学校に子供達を通わせる事は出来ません。

○小学校の和地小への一時的な避難に賛成です。

新設小学校は総合運動場を利用して頂きたい。

中学校も小学校も将来の少子化に備え、岬地区だけにとどまらず、旧渥美町の小中学校に呼びかけ、改めて防災・少子化について検討をお願いしたい。

市のたたき台より地区の意見を基に、今回の話を進めるべきであった。

小学校と中学校は、別々に分けて議論すべきだ。

○子ども達は、それぞれに自分の学校への想いや、思い出、色々なものを犠牲にして新しい環境にとびこむことになるのだから、今よりも、より充実したより安全な場を準備してあげて欲しい。

堀切小の子どもたちをわけることは絶対して欲しくない。

津波が来た時に、孤立するとわかっている伊良湖小ではなく和地小へ。

本日の会でいろいろな意見が出ていたが、中学や和地小を改築するとか、その土地を利用して新しい建物を建てるなどの場合は、そこに在籍する児童・生徒が、騒音や行動の規制を受けることがないようにして欲しい。

小学校の統合、中学校の統合のタイミングが、たたき台にあったように同じ学年があたることの無いよう配慮願いたい。

○せっかく予算があるなら、新しい建物を作るのが地域にとっての長期的な利益です。既存の建物の利用はとりあえずの対処としては有効ですが、なるべく早く新築すべきです。タイミングを逃してはいけません。災害は津波だけではないのですから。

別紙の案、もしくは新小学校を渥美運動公園に建設を希望します。

最終的な案がどうなるかに関わらず、とりあえず早急に和地に逃げたいです。

平成 25 年 6 月 17 日(月)伊良湖校区懇談会

Q：堀切の状況は？

A：和地を希望している。中学校は福江中より赤羽根中。高台移転、来年でも良いという希望があった。

Q：岬中も統合しなければならないのか？移転は規模が小さいからなのか？

A：今後、岬中は1学級になっていく。人間関係が固定化する問題が起きてくる。部活動も減少している。保護者から大きな学校で成長させたいという願いが出ている。岬中も近い将来そうになっていく。

Q：小学校は統合でしょうがない。家に帰ってくる見込みの人数を把握しているか？

A：社会的要因はわからない。

Q：小規模校が120人となった経緯は？

A：平成18年に2か年かけて「学校問題研究会」で検討した。

Q：和地小は土砂災害警戒区域の指定を受けている。

A：土砂災害警戒区域でなく急傾斜地危険箇所の指定を受けている。明治43年に学校が移転してから災害はない。建替時には対応が必要。

Q：和地小に決まれば工事はできないのか？

A：平成27～31年まで5年間は、一時的に和地小。その間で工事はできない。

Q：現地を見に行ったが崖まで近い。移行期間でも不安を感じたら工事してもらいたい。

A：検討する。

Q：用地費別で新設予算はいくらか？福中の標高は本当に高いのか？中山小はかなり低くないか？

A：20億円くらい。防災上、福中は避難所になっている。中山小は校舎が避難施設。岬中の標高は17m、福中は6m、高い場所から低い場所へ行くことにはなる。

Q：渥美運動公園の周辺は難しいのか？

A：小学校の位置は、渥美運動公園周辺、岬中の跡地、和地。再度検討する。

Q：野中の統合先は未定のようなが、赤中で1学年4クラスは入れるのか？

A：1学年3クラスが精一杯。岬中、野中、赤中は難しい。建増しや特別教室の転用は可能。

Q：岬中が出遅れた場合でも統合は可能か？

A：可能。

Q：和地小で当面の間ということだが、伊良湖小も捨てたものではない。伊良湖小という考えはないか。赤中になった場合、部活動後のスクールバスは1便だけか？

A：堀切は分けないでほしいという意見。伊良湖は陸の孤島になるため、和地小の方が良いという意見が多い。スクールバスは行事に合わせて運行したい。童浦小は朝1便、夕方4便運行している。学校行事に合わせて運行することは可能。

Q：そのほか、ソフト面で考えていることは？

A：心のケア。行事、運動会、部活動と一緒にやって仲良くなってもらう。希望を持って入っていけるようなことを考えたい。

○：子供の気持ちも分かるが、期間を決めてやるべき。

Q：統合することを子供に誰が説明してくれるのか？親が話しをしていると子供も不安になる。来年からということであれば今頃から話しをしないといけない。

A：来年は難しい。先生が言い難くければ市教委。

Q：先生から説明は難しいということか？

A：先生は愛校心についても話しをしている。

Q：住む人が少なくなっていくがその対応策は？

A：具体的にはまだ。そういった話しはしていく。

Q：20年後を見据えて進むべきだと思う。10年、20年後を考えた計画にすべき。

A：3校で概ね20人。20年はこれくらいで推移していくと考えている。

Q：赤羽根と渥美支所に改修して利用できるスペースはないか？

A：赤羽根市民センターは全て利用している。渥美支所の3、4階は物置になっている。ただし、学校には体育館、プールも必要。

Q：岡ノ越（渥美支所）周辺に旧渥美町の中学校を一緒にして新設校を造る。入れてもらうことによるいじめの心配も解消する。赤中へ通うよりも近くなる。

A：一度検討してみる。福江高校へはどのように通っているのか？

Q：一人で帰って来なければならないので車で送迎している。

A：スクールバスの方が安心。

○：どこまで送ってくれるのかという問題もある。

Q：福江高校と渥美支所のところに新設校を造るということはどうか？

A：今の段階では3小学校を統合したい。それに併せて中学校をどうするかを考えたい。福中をどうするのかという話しも出てくるので、その中で検討したい。

Q：学校は地域の核。統合すると地域の活動、コミュニティが壊れないか心配。統合された場合の機能は？

A：工夫だと思う。小学校区にコミュニティが2つ以上あっても良いと思っている。そのように活動していけば良い。コミュニティも統合しようという機運が高まれば統合することも有りと思う。

Q：コミュニティの統合は考えていないのか？

A：コミュニティの統合までは考えていない。

Q：小学校はしょうがないが、中学校は再検討すべき。例えば亀山を入れる。

A：3小学校と岬中は今年度中に答えを出したい。まずは緊急、先行地域の方向性を今年度中に出したい。

Q：皆が分かるように、共有できるようにしてほしい。

A：PTAとの懇談会が終わった。時間をいただいた後、3校区集まって、こういった懇談会を開きたい。

Q：具体的な資料がほしい。意見に対して「こうなります。」という資料を出してほしい。

A：たたき台を見直したい。

Q：複式学級の検討は進めているのか？他市町村で複式学級になっているところはどのような状況か？

A：複式学級の準備は進めている。しかし、複式学級は正常なカリキュラムではない。新城市では、複式学級を解消するために統合し、スクールバスで送迎するということが進んでいる。

Q：こういった懇談会は、また開かれるのか？

A：いつでも来る。

Q：地域の子供はとても大事。皆で見守っていきたい。

A：地域の人で地域の子供を育てていくことが大事。

Q：通学路に歩道を設置してほしい。何度も言っているが道路に歩道がない。歩道を設置する方法は？

A：校区会長から継続的に要望してもらうことが一番。

平成 25 年 6 月 20 日（木）野田保育園小学校中学校保護者懇談会

Q：スクールバスの支援は部活の時間は考慮されるのか。

A：学校行事にあった運行を行う。

例えば赤羽根中となれば、路線バス、ぐるりんバスが無い場合基本はスクールバス、田原中となれば路線バス等を踏まえてできるだけ負担がかからないように支援を行う。

Q：平成 27 年だと今の 1 年生が 3 年生となる。今から入学する子達は田原中の制服や体操服を準備できると思うが、3 年生だけ今の野田中のものになってしまうのでは。

A：学校を考える会では統合に賛成のような総意的な意見を受け取った。このことから平成 27 年度の想定で対応可能ととらえた。方向が決定すれば制服、ジャージ等は揃えていけるのかと思っている。心の準備も含め。子供のことを考えると早く大きな集団がいいのかなと思う。

1 年かけ、部活、学校行事を合同で行うことにより、慣れや、心の融合ができるようにしたい。

Q：田原中、赤羽根中など統合先は親が求めるのか、市が決めるのか。

A：色々な意見を聞き、総合的な判断を行い最終的に市で決定する。

Q：ただでさえ、市からGOサインが出るまで長い。

A：今年度中には方向を決定したい。

Q：方向が決まれば先が見え、親も準備ができる。

A：方向さえ決まれば H27 を H28 に伸ばすこともありえる。

Q：統合側でいやだという声はあるのか。

A：聞いていない。

Q：個人的な意見で田原中、赤羽根中といった意見は出ているか。

A：そういう声もあった。皆の意見をいただければと思う。

Q：市は将来中学校を 3 つにしたいと聞いたことがあるがどうか。

A：遠い将来は福江中、田原中、東部中の 3 つにしたいと考えている。岬中が赤羽根中という声もあることから、この場合は当面、赤羽根中も残る。

Q：色々話をすることは良いと思う。しかし時間ばかり過ぎてしまうので、場所は市のほ

うで「どこ」と決めてくれたほうが進みやすいのではないか。親も色々と考えすぎてしまう。

早めに交流を始めて様子を見てから統合年をH27, 28, 29を考えればいいのではないか。

A：市が早く決めることも一理ある。8月に、校区から野田の総意として提出してくれば10～11月には決断できる。

Q：赤羽根中を選んでも少子化が進めばいずれは田原中となるのではないか。赤羽根中はどうかと思う。

A：当面4つとなると、赤羽根中に岬中、泉中とかもあり。野田中と赤羽根中だけの統合とも考えていない。また、少子化が進めば次の統合もありえる。

Q：統合はしなければいけないと思う。自分たちは何をしていたらいいのか。

A：野田の総意を掴みかねている。まずは統合を望んでいるという意味決定をして欲しい。その後どここの学校へと決めて欲しい。

A：総意を校区会長から要望を出していただきたいということ。

学校を考える会、コミュニティ、村の方たちは人数の減少を分かっているようで分かっている。話を進めてきた中で何となく問題を感じてもらったと思う。もう少し時間がかかるかもしれない。

Q：部活数少なく選択肢がない。統合したいのが本音だが、もう一方で心配がある。自分の子供が卒業してからがいいかなとも思う。3年生だとコミュニケーションが取れないと受験が心配。

なるべく早く慣れて欲しい。早く統合も。

A：福江中では色々な学校が集まる。中でも亀山小は人数が少ないので1年生のときは人の配置も考え、クラス分けしている。しかし2年生になるときは皆慣れている。

統合のときはクラスも配慮していく。統合が決まれば、早い段階から交流を始める。

成績は絶対評価制であり、違いが無いとは言えないが、どの学校も同様な成績となる。

Q：中学校のことだけ出ているが、小学校も同じではないのか。

A：小学校も少ないが、1クラス20名、全校120名を超えるので許容範囲に収まるため、当面は大丈夫と考える。1中学校に1小学校は基本方針と異なる。

Q：市の将来像は3中学校。今のところ合併等は別として、現実的な方針は田原、東部、赤羽根、福江の4中学校ということではないか。

A：そういうこと。

Q：いつまでに決めないといけないとかがあるか。

Q：8月を目処にして校区会長から要望書をもらい、10～11月に決断しその後に課題の解決策をと考える。

Q：各家庭へアンケートをとることがあるか。

A：アンケートも良いが、現状をよく説明してからがいいと思う。子供がいない家庭では分からない。皆の意見をどう集約するのかは校区会長とも相談させてもらう。

P T A会長：校区会長、小学校P会長等とも話をしている。できれば本年度の役員メンバー

で決定していきたい。年度が替わればどんどん先送りになっていってしまう。3月の立ち上がりから盛り上がり、避けても通れない。適正規模を割っているより大きな集団で。高校デビューを中学デビューに。

校区会長も負担は掛けるが方向性を決めたいと言っている。アンケートについては、いきなりだと誤解があるかも知れない。簡単そうで難しい面がある。

自治会から全戸へのチラシ配布、役員への説明、今回は保・小・中の役員に話をしてもらった。一歩進んだ話し合いにしたい。

市は8月に文書がほしいと言っている。まず、子供の居る家庭にアンケートをとってきたい。

A：少人数でも話が聞きたければいつでも出かけてくる。

Q：小・中保護者の前で説明してもらいたいができるのか。

A：アンケートを取るにも生の声を聞いた方がしっかりとした意見が出てくる。PTA会長さんとも話をさせてもらい行っていく。

○：中学校の小規模化については、皆が統合したほうが良いとなれば統合へ向かう、反対となればそのまま。今日は役員の皆が賛成なのか反対なのか聞きたいと思ってきた。

○：一部の方の意見だが、反対の方の意見・質問は無かったと思う。反対の意見も大切であり120%賛成はないと思っている。